

ごみゅにけーしょん

Gommunication みんなに話したくなる みんなと始める 事業ごみ減量ニュースレター

使い終わった天ぷら油 どうしてる?

使用済みの天ぷら油などの廃食用油は、資源としてリサイクルできます。

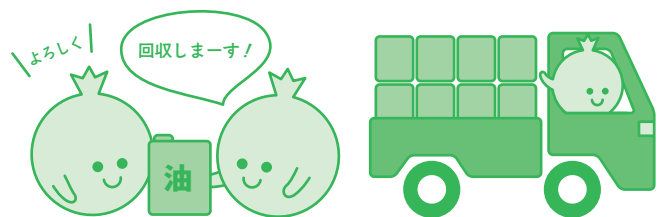


天ぷら油はリサイクル資源です!



事業所から出た廃食用油は リサイクル業者へ

集められた廃食用油は、精製・加工され、各種原料用油脂として出荷されます。



※事業所から出る廃食用油を廃棄物として処理する場合は、産業廃棄物に当たりますので、契約などについて法律によるルールがあります。

様々な製品に生まれ変わっています!

家畜の飼料原料 になってる もの多いね

家畜の飼料原料

他にも いろんな製品に リサイクル!

石けんなどの原料

ボイラーや車などの燃料

塗料やインクの原料

回収は許可業者や 資源回収業者に 相談しよう!

お気軽にご相談ください!

資源ごみの回収を お願いします

ごみ削減に役立つ豆知識

ごみゅにけーしょん

Q&A



ごみ減量の 3つの キーワード

◎ 事業ごみ減量のために一番大切なことは?

- ① 発生抑制
- ② 再使用
- ③ 再資源化

※答えは裏面の下にあります。

京都環境事業協同組合から

事業ごみ収集のご相談は当組合まで。「京都市推奨事業系ごみ袋(透明袋)」も販売しています!

★お客様相談窓口を開設しましたので、ぜひご利用ください!

相談窓口 Tel. 691-5517

【受付時間 月~金 13:00 ~ 17:00】



レポート

商店街での新たな取組
～京都三条会商店街～



ワークショップ開催

京都三条会商店街では、事業ごみの減量やリサイクルに商店街として取り組むため、連続ワークショップを開催しました。参加したのは、商店街加盟店や商店街のごみを収集している許可業者、コーディネーター役の専門家など約30人。

昨年9月に開催した1回目では、「商店街のごみ減量の課題抽出」をテーマに、グループに分かれて話し合いました。出てきた課題は、古紙などの分別ができていないことや、毎年何度か開催しているイベントで発生するごみが多いことなど。11月に開催された2回



ごみ減量ワークショップの様様

目のワークショップでは、前回出された課題をもとに、商店街で取り組むごみ減量の活動内容について意見を出し合いました。話し合いの結果、商店街全体で古紙の共同回収実験を行うこと、各店舗でごみ量の実態把握を行うことの2つの取組が決まりました。

ごみ減量の取組を実践

2回のワークショップの結果をもとに、平成24年1月から2月にかけて、古紙の共同回収実験を行いました。この実験では、商店街のお店から出る「段ボール」と「雑紙（チラシや紙箱など）」を対象に、閉店後の時間に週1回、決められた場所に集め、京都環境事業協同組合の協力により回収しました。また、ワークショップに参加していたお店では、古紙回収実験が始まる前2週間と実験期間中の2週間、ごみ量の測定に取り組み、実験によるごみ量の変化を調べました。

今回の取材を通じて

京都三条会商店街の上田照雄理事長は「収集業者に対する理解も深まり、商店街各店舗のごみ減量意識も向上しました。特に雑紙の共同回収は、見た目のごみが減り実感がわきました。」と、今回の取組の効果を語っておられました。さらに「今後は地域も巻き込んで、もっと商店街が地域社会に貢献できるような取組をしたいですね。他の商店街にも取組の輪が広がって欲しいです。」と今後の展望をお話いただきました。読者のみなさんも商店街や地域で協力して、ごみ減量の取組を考えてみませんか？



上田照雄理事長



とびっくす

京都環境事業協同組合が児童養護施設に寄付

京都環境事業協同組合が販売している「京都市推奨事業系ごみ袋」。その売上の一部から100万円を市内の児童養護施設に寄付されました。組合では社会貢献活動の一環として、昨年と同様の寄付をされており、今後も続けていきたいとのこと。事業ごみの透明ごみ袋がこのような形で役立っています。



3月5日の寄付受納式にて、京都環境事業協同組合の新川理事長と門川市長

コラム

京の知恵

京都の伝統文化に育まれた知恵を、次代を担う文化人がコラムにてご紹介！

竹中健司 (竹中木版 五代目)

浮世絵木版画には福井県にある越前奉書紙という和紙を使用する。浮世絵を摺(す)る場合、通常110枚単位で制作にあたりその内の100枚を完成品とし、残りの10枚は色見、位置の確認用に使う。そして、この10枚は試作品となるので廃棄扱いになる。



新作を制作する時は、その過程で何度かの試作を繰り返す。その為、試作にはたくさんの和紙を使用し、完成品とはならないその和紙はもちろん廃棄扱いとなりごみとなる。たくさんのごみが増えることにより、より良い最高作品がこの世に生まれ出てくる。

ごみは必要なものなのか。それともいらぬものなのか。発展を望む時ごみは大量に増え、安定を求める時それは悪となる。発展と安定の矛盾を求められた世の中で、バランスを保ちながら今日も与えられた伝統の仕事を継承していく。

竹中健司(たけなかけんじ) プロフィール:1970年生まれ。京都市出身。老舗手摺(ずり)匠「竹中木版」の五代目。浮世絵木版画彫摺技術保存協会・京都版画出版協同組合・京都木版画工芸組合理事。2011年には、著書「京都竹笹堂のはじめての木版画 かわいい雑貨をつくる本」を出版。また京都市立芸術大学美術学部の非常勤講師として教鞭を振るうなど、木版画技術の伝承流布に尽力している。

下記ホームページに一般廃棄物収集運搬業許可業者の連絡先・PR内容を掲載しています。ぜひご覧ください。

京都市 一般廃棄物許可業者

検索

<http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000001025.html>

ごみゅにけーしょん Q&A の答え：① 発生抑制

一番大切なのは、物を大切に、ごみを減らすこと。これまでご紹介した紙ごみ、生ごみ、缶・びん・ペットボトルなどの資源ごみ減量のアイデアは、ぜひお試しください！

“へらす”“わかる”で
一歩先行く
事業所しよう！



発行：京都市環境政策局事業系廃棄物対策室

京都市中京区河原町通二条下の一之船入町384番地 ヤサカ河原町ビル7階

TEL: 075-366-1394 FAX: 075-221-6550